

電気工学科における教育ポリシー

アドミッション・ポリシー 入学者受入れの方針

1. 電気工学、電子工学、情報通信に関する専門知識を身に付けようとする意欲のある人。
2. コミュニケーション能力、倫理観、ならびに一般教養を身に付けようとする意欲のある人。
3. 数学及び理科の基礎学力を有していること。

カリキュラム・ポリシー 教育課程編成・実施の方針

1. 大学の基本理念に基づいて電気工学科が定める学習・教育目標を実現するための教育課程を編成する。
2. 電気電子情報工学の高度な専門知識と応用技術を修得すると共に、多様な価値観の理解や技術者倫理の学びを通じて人間や自然・環境に配慮し、技術を実践する能力やエンジニアリングデザインの能力の養成を通じて問題を解決できる能力を修得でき、論理的表現や英語の学びを通じて自己表現を修得でき、さらに、データ解析等の情報処理を通じて情報解析能力を修得できる体系的な教育課程を編成する。
3. 段階的な知識の修得を支援するため、一般的素養を深めるための「一般科目」、電気電子情報工学の基盤をなす「基礎科目」、電気電子情報工学における各専門分野（“材料・エレクトロニクス系”、“エネルギー・制御系”、“コンピュータ・情報通信系”）の専門家としての能力を養うための「専門科目」の3種類の授業科目を体系的に配置する。
4. 「一般科目」は、「英語」科目の他、国際感覚、技術者倫理、コミュニケーション、キャリア開発等の能力を修得できる「人間科学」科目を配置する。
5. 「基礎科目」は「基幹基礎科目」と「専門基礎科目」の授業科目を効果的に配置する。「基幹基礎科目」は電気工学科の学生にとって必須な科目とし、「専門基礎科目」は電気工学科での将来の学びを意識して「専門科目」との接続を図る。
6. 「専門科目」を通じて電気電子情報工学における高度な専門知識と応用技術、研究方法を修得するばかりでなく、電気工学実験等の実験実習科目や卒業研究を通じて技術を実践する能力を養成する。さらに、デザイン工学や卒業研究を通じてエンジニアリングデザイン能力を養成する。このようにして、事象の本質的な理解を深めるとともに、工学的な応用を創造できる能力と、課題を発見し解決できる能力を身につける。

ディプロマ・ポリシー 学位授与の方針

1. 広い視野での社会観と責任能力の素養を身につけている。
2. 口頭や文章での論理的表現によりの確にコミュニケーションを行える。
3. 数学・自然科学・情報技術の基礎知識とその上に築かれた電気電子情報工学に関する専門知識を習得している。
4. 目的を明確にして計画的に身につけた知識・技術を活用実践することができる。
5. 技術や工学を実用に役立てることのできるエンジニアリングデザイン能力を身につけている。